

学校便り

第331号
平成26年9月1日練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

それぞれの夏祭り

校長 鈴木 隆志

今年も、酷暑の夏でした。日本各地で起きた豪雨被害や水の事故、青少年が絡む事件などの報道に触れるたび、心を痛めました。幸いにして光っ子たちはみんな元気に楽しい夏休みを過ごしました。7月18日実施の「葉かげの集い」（青少年委員・PTA共催）に始まり、たくさんの光っ子たちが参加した「ラジオ体操」（7月22日～24日、8月25日～28日）、恒例の「むつみ台団地夏祭り盆踊り大会（練馬区第七地区祭・光が丘会場）」（7月26日・27日）、7名の光っ子たちが参加をした第七地区委員会の「エンジョイ武石」（7月28日～29日）、田柄婦人会主催「盆踊り」（8月5日・6日）、田柄地区区民館での「田柄えんにち」（8月23日）、ゆりの木北団地での「ゆりの木夏祭り」（8月30日・31日）、Uプラザ駐車場での「神明商店会夏祭り」（8月31日）と、多くの行事において、保護者、地域の皆様方には大変お世話になりました。心より、感謝申し上げます。

7月24日の児童館連合ドッジボール大会（光が丘体育館）では、光が丘児童館が見事準優勝という嬉しい知らせもありました。なお、愛宕神社・金魚市（7月24日）は大雨の中の実施となりました。練馬区・青少年委員会共催「ジュニアリーダー・秩父キャンプ」（8月9日～11日）は台風11号接近のため中止となりました。8月27日のラジオ体操も雨天中止となりました。

□むつみ台団地夏祭り盆踊り大会（練馬区第七地区祭・光が丘会場）

今年のむつみ台のお祭りでは、二日目に少し雨に降られましたが、一日目の7月26日は雨や雷の心配が全くなく、盛大に実施されました。15時からの子供みこし・山車に始まり、16時半からのカラオケ大会には、光っ子たちも参加させていただいたようです。夜の盆踊りでは、提灯の明かりに浮かび上がる子供たちの笑顔がとても楽しそうでした。模擬店が数多く並ぶ中、子供たちだけでなく大人も一緒に楽しんでいる様子が伝わってきます。大人も子供も、笑顔と歓声であふれていました。子供たちは光っ子だけではなく、他校の小学生もたくさん来ていました。八小の卒業生たちも大勢来ていました。就学前の小さい子たちも、賑やかな太鼓の音に、胸が躍るといった感じでした。お年寄りの方も踊りの輪に入ったり眺めたり、年に一度の夏祭りを心から楽しんでいるようでした。むつみ台のお祭りは、40年以上続く、私たちのまちのお祭りです。団地に住んでいる子供に限らず地域の子供たちが大変お世話になりました。子供たちにとって、楽しい夏の思い出になりました。

□もう一つの夏祭り

8月11日、私は福島県いわき市久之浜の夏祭りに行ってきました。震災後4度目の夏によりやく復活した「第1回・浜の夏祭り」です。津波で跡形もなくなったまちの一角にやぐらを建て明かりを灯し、大型トラックの荷台をステージにと、まさに久之浜漁協組合青壮年部手作りの夏祭りでした。夏祭りの実施要項を読むと、開催目的は、①東日本大震災で亡くなられた方へ追悼の意と、久之浜の新たな発展の願いを込めた花火の打ち上げ、②盆踊りなど、震災以前の催しを復活し、町民の交流を図り活気を取り戻す、③地域内の住民だけでなく、たくさんの人に足を運んでもらう、の三点です。こんなにも人が集まるんだと驚くほどの賑わいでした。お盆で里帰りをする家を失った人たちです。久しぶりの再会を喜び合う姿、互いの近況を語り合う声、招かれた歌手も一緒になって、笑顔の花が咲く感慨深い夏祭りでした。この日の花火は、「LIGHT UP NIPPON」プロジェクトとして、福島県・宮城県・岩手県の被災地を中心にした14カ所で、同時刻に一斉に打ち上げられた鎮魂の花火です。

どちらの夏祭りも、笑顔と笑顔で人と人がつながる、地域にはなくてはならないお祭りでした。9月27日、学校のお祭りとも言えるべき「運動会」が実施されます。笑顔で紡ぐ運動会を創ります。